

小児・AYA世代のがん (Cancer in childhood, adolescents and young adults)

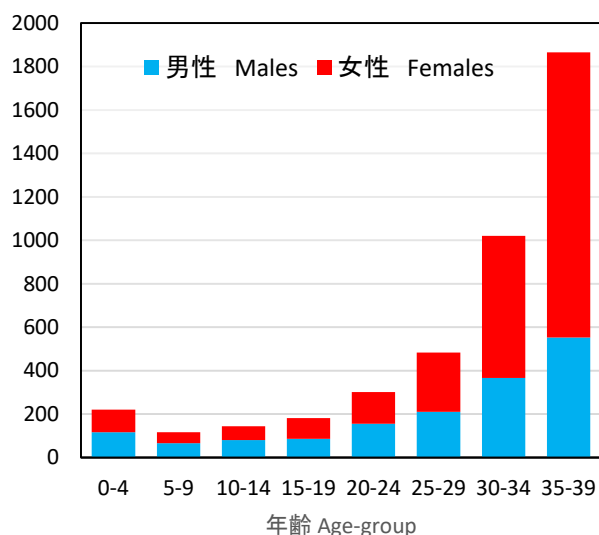
■ 罹患の状況 (2021年11月18日現在の統計値による)

2016年から18年の3年間にがんと診断された人数(男女計)は、0-14歳で482人(性別不詳1名含む)、15-19歳で182人、20歳代で785人、30歳代で2885人であった。小児がん(0-14歳)の罹患率(粗罹患率)は男女計で15.9(人口10万人あたり)であった。同様にAYA世代のがん罹患率は15-19歳で16.1、20歳代で31.6、30歳代で100.9(人口10万人あたり)であった。図に示す通り、罹患数(罹患率)は25歳を過ぎると飛躍的に上昇していた。小児期における罹患率に性差はほとんどないが、女性の罹患率は15歳以上で男性より高くなり、15-39歳のがん症例の64%を占め、年齢が上がるに従って増加している。

罹患数(2016-2018年)

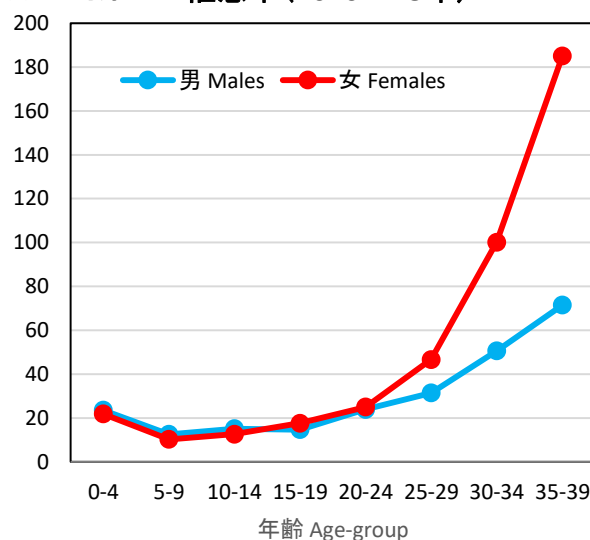
年齢階層 Age group	0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳
男性 Males	117	66	80	86	155	210	367	553
女性 Females	103	51	64	96	146	274	653	1312

罹患数(2016-18年)



人口10万対

罹患率(2016-18年)



■ 年齢の割合

30-39歳で発症している人が40歳未満のがん罹患者の67%、AYA世代(15-39歳)のがん罹患者の75%を占めていた。

